

豊かな狛江をつくる市民の会通信

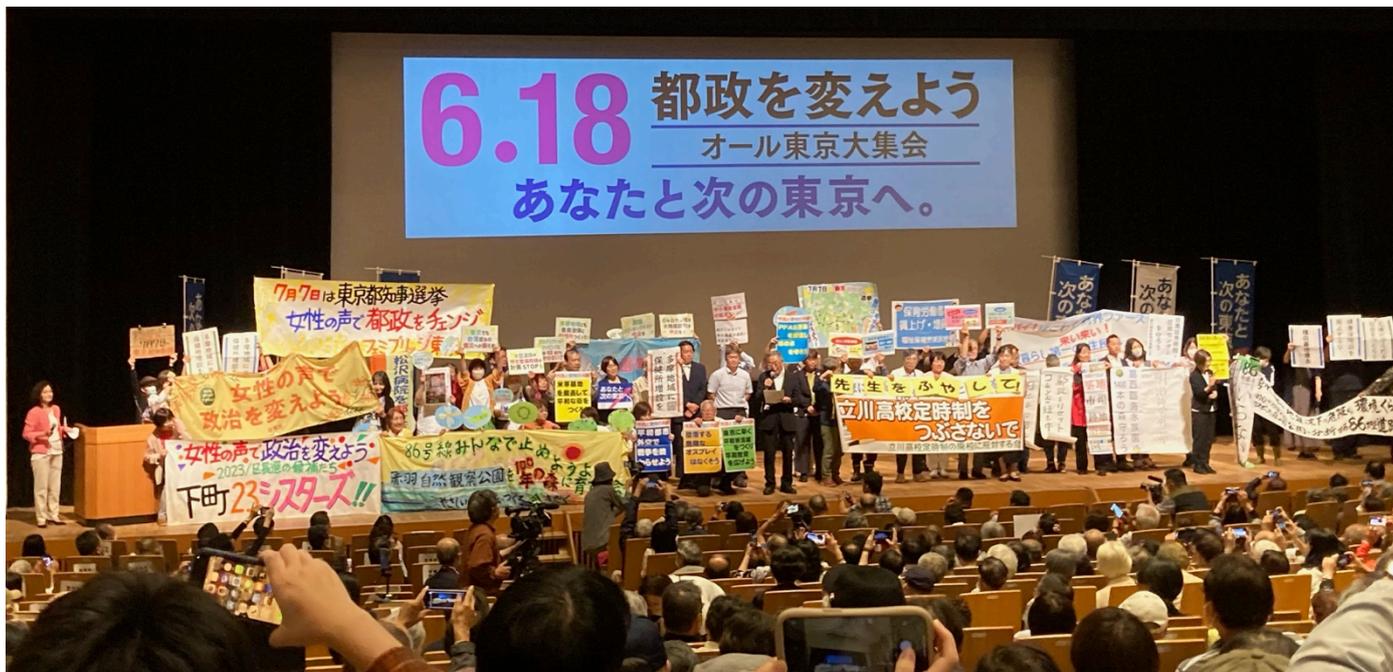
# 豊かな狛江

豊かな狛江をつくる市民の会

狛江市東和泉1-1-18いづみ荘103号室  
新日本婦人の会狛江支部気付  
連絡先：080-5084-1821（前土肥）  
郵便振替口座番号 00140-3-727253

第288号（2024年7月号） / 2024年7月1日発行

## 「オール東京で反自民、非小池の都政を」 市民と野党の共闘で 豊かな会は蓮舫さんを推薦します



5月27日、立憲民主党の蓮舫参議院議員が都知事選挙(6月20告示、7月7日投票)への出馬を表明しました。蓮舫さんは「今、たたかわなければいけないのは自民党政治であり、自民党政治を支えている小池都政は終わらせないといけない」と反自民党政治、非小池都政を転換する都知事をめざすと述べています。

8年前に当選した小池知事は、「都庁はブラックボックス」と自民党を批判し、「築地は守る、豊洲は生かす」とか、「都民が決める、都民と進める」、「多摩格差ゼロ」などといっていました。当選後は自民党政治と同様、神宮外苑樹木伐採に象徴されるような都民より財界ファースト。「稼ぐ東京」を押し進めています。都立病院独

法化を強行し、629床が休止しています。

小池知事は江東区長選挙、八王子市長選挙、目黒都議補欠選挙で自民党候補を応援し、今回の知事選でも自民党の支援方針に「大変心強い」と応じています。

### 市民と野党で候補者選定

今年1月、永山利和元日大教授、浜矩子同志社大名誉教授らが呼びかけ人となり、前回都知事選候補者の宇都宮健児弁護士、前川喜平元文部科学省事務次官、福山真劫氏(総がかり実行委)、菱山南帆子氏(市民連合)、立憲民主党、日本共産党、社民党、生活者

ネット、緑の党、新社会党、革新都政をつくる会などで構成する候補者選定委員会が発足し、4回の検討を経て、当初から名前があがっていた蓮舫さんを擁立することを決定したのです。

蓮舫さんは出馬表明の記者会見で市民と野党の共闘について「自民党政治を終わらせるために、一人でも多くの支援が必要。『反自民、非小池』のオール東京でたたかいたい」と述べ、6月に立憲民主党を離党しました。

## 豊かな会は蓮舫さんを推薦 国政にも市政にも影響

豊かな会は、6月24日(月)の拡大世話人会で、これまで求めてきた学校給食無償化継続や保健所復活、多摩格差解消のためには、小池都政からの転換がどうしても必要と、蓮舫さんを推薦することを決定しました。自民党政治そのものを進めてきた小池都政をストップすれば、国政にも市政にも大きな影響を与えることは間違いありません。

豊かな会は会員のみなさんに蓮舫さんを支援する活動を呼びかけます。

## 2024年総会のご案内

日時:2024年7月27日(土)14時から

会場:東京土建狛江支部会館

前回総会は2023年1月28日に開きました。豊かな会は、図書館分割・移転という狛江市政の大問題を、「ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ」、「こまえ図書館住民投票の会」の運動をともにしており2024年総会を延期していました。

お忙しいとは存じますが、団体・個人に関わらず総会にご参集くださいますようお願い申し上げます。また、この機会に会費をお納めくださるよう重ねてお願い申し上げます。総会にご参加できない場合は、今回の「豊かな狛江」に同封した払込取扱票をご利用くださるようお願いいたします。

総会で審議する議案は以下の通りでございます。ご意見、ご提案などを事務局あてにメールでお寄せください。(前土肥 [maedohi139@gmail.com](mailto:maedohi139@gmail.com))

なお、決算・予算は当日配付とさせていただきます。ご了承ください。

### 【前回総会からの経過】

2023年市議会議員選挙に当会は5名を推薦し4名当選しました。

2020年の「市民センター等改修基本方針」に端を発した「ちょっと待って図書館移転連絡会こまえ」が、繰り返し働きかけたが市・市長が態度を変えませんでした。

2023年12月「こまえ住民投票の会」を結成し、直接請求署名による住民投票条例を求めたが、2024年5月の臨時市議会が否決しました。

要望を繰り返した小中学校給食費無償化は、多摩地域で先んじて第3子からを、都の「無償化自治体への

半額支援」制度を援用して2023年度第3学期から完全無料となりました。また補聴器購入補助制度の開始、中学校まで所得制限なしの医療費無料化も実現しました。

社保協がまとめた対市予算編成要望への回答は、2021年からコロナを理由に会談の場を設けず、2023年以降は「どの団体とも会わない」態度です。

毎月拡大世話人会を開催し、会報「豊かな狛江」を毎月発行しています。

「九の日」行動、憲法大集会、平和行進、市民デモなどに参加しました。

### 【2024年度活動方針(案)】

#### I、市民本位の狛江市政の実現に向けて広範な団体と連携します

◇「市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」に違反する市政運営を許さない取り組みを推進します。

◇国保税軽減、給食費無料継続など2022年狛江市長選で掲げた公約の実現に向け取り組みます。

◇《豊かな会》に結集している個人・団体の皆さんが、自らが担っている要求運動やとりくみを精一杯、生き活きと展開し、市民への影響力、市民からの信頼をいっそう広げることが第一だと考えます。

◇《豊かな会》は、広範な市民運動・市民活動との連携を追求し、市民福祉切捨て市政との対抗・反撃、市民派市政の復活に的を絞った市民運動を全力で進めていきます。

◇《こまえ社会保障推進協議会》の運動に積極的に参加します。

## Ⅱ、9条改憲阻止、自公政権打倒のたたかい

◇《戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会》に結集し、9条改憲NO！改憲発議に反対する運動にとりくみます。

◇《戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会》が参加する《市民連合“ちょこみた”@東京22区》を通して、次の総選挙において自公政権打倒のため、東京22区における“市民と野党の統一候補”を追求します。

## Ⅲ、市政転換のため市民派市長誕生をめざし、政策立案と候補者選定作業にとりくみます

## Ⅳ、《豊かな会》の組織態勢立て直しを追求

◇基本的には、現在の世話人は、全員引き続き引き受けてもらいます。

◇参加団体と個人から世話人を選んで「世話人会」を構成し、会の運営にあたります。(会則)

◇世話人会の中から会の代表者を決めます。(会則)

◇世話人の中に事務局をおき、会の運営を進めます(会則)。

現在の世話人は次の通りです(五十音順)。

大久保 高子(日本共産党調布・狛江・府中地区委員会)、小俣 三郎、久慈 正巳、重国 毅、周東 三和子(新日本婦人の会狛江支部)、岡村しん(日本共産党市議団)、西尾 真人、林 健彦、平野 義尚(日本共産党調布・狛江・府中地区委員会)、前土肥 保(こまえ年金者の会)、増田 善信、

三木 寛(都教組北多摩東部支部狛江地区協議会)、矢野 裕、若見 洋子、和田 哲子、(東京土建一般労働組合狛江支部)、(調布・狛江・府中民主商工会)(狛江生活と健康を守る会)

◇加盟団体ではなく、市民個人として「やってもいいよ」という方、ぜひ！この総会で手を挙げてください。

◇《豊かな会》の世代交代のためにも、新たな世話人の獲得に努めます。新たな世話人の任命権限を世話人会に委任します。

◇世話人の役割分担は、現体制を基本に以下のとおりとしますが、世話人会での決定で補強・改革等をおこないます。

△共同代表 増田善信、矢野裕 ※東京土建狛江支部からお一人をぜひ派遣していただきたい。

△事務局 小俣三郎 周東三和子、西尾真人、大久保高子、林健彦、前土肥保

△事務局長 前土肥保、△事務局次長 周東三和子、

△会計 若見洋子

△会報編集委員 小俣三郎 周東三和子、西尾真人、大久保高子、林健彦、前土肥保

△その他、必要なチームや担当者を世話人会での決定で任命します。

※2023年決算・2024年予算は総会当日に配布します。

## 施設整備、再開発を市民参加で、物価高騰対策、PFAS 調査など求め 2025 年度予算に要望 社保協とともに

狛江市に毎年提出している来年度予算編成に対する要望をまとめました。要望書は事務局のこまえ社会保障推進協議会(こまえ社保協)に参加している8団体(東京土建、新日本婦人の会、民主商工会、こまえ年金者の会、生活と健康を守る会、こまえ派遣村、北多摩中央医療生協、豊かな会)がまとめ次第、市に提出します。

狛江市は2020年10月の「懇談会」以降は対面の交渉に応じず、あっても文書回答(それも木で鼻をくするよう)しかありませんが、学校給食費無償化、補聴器購入補助など、粘り強い働きかけで要望が実る面もありますので、あきらめずに要望を続けます。

豊かな科の要望項目は以下の通りです(詳細略)。

1. 「狛江市市民参加と市民協働の推進に関する基本条例」を遵守して、郷土資料館を含む複合施設整備、再開発など今後の計画を市民参加・協働で検討してください。
2. 物価高騰のもと、生活に困窮している方々に経済的支援を強めてください。
3. 子どもたちのために
4. 市民の健康のため調布・狛江に保健所を復活させるため国や都に強く働きかけてください。
5. 健康保険証廃止・マイナンバーカード一体化は、国民皆保険を壊し、市および医療機関の事務負担が増え、市民が不便になるので、健康保険証をこれまで通り使えるように、国に求めてください。
6. 有機フッ素化合物(PFAS)の地下水等への汚

染の実態を明らかにし、必要な対応をとってください。

7. 自衛隊に対し行っている本人同意を得ない個人情報提供をやめてください。

8. だれもが生きやすい狛江をつくるためパートナーシップ制度を導入し、性的マイノリティの現状を理解した行政サービス・生活支援策を実施してください。

9. バス減便・路線廃止等で生じている交通不便地域に対し市としての対応を検討してください。

10. 商工業、農業の振興をはかり活気と賑わいのあるまちにするため

11. 気候危機打開へ再生可能エネルギーの利用拡大と省エネの取り組みを

12. 災害死者ゼロ・浸水被害ゼロをめざし、災害対策を抜本的に強化してください

13. ロシアのウクライナ侵略即時中止とガザ・イスラエルの即時停戦を求め、狛江市平和都市宣言にもとづき、憲法9条を守り核兵器禁止条約への日本の参加を求めてください。

## これで終わりじゃない 図書館住民投票運動

周東三和子

市議会での住民投票条例否決を受けて6月2日(日)18時から中央公民館ホールで報告集会が開かれました。日曜の夜にもかかわらず49名の参加で、経過説明ののち意見交換が行われ、署名活動の経験や、議会の傍聴の感想、住民投票を求めるのは当然の権利で、この取り組みの意義、議会の条例に対する態度の批判などが出されました。

署名の経験では、多くの家を訪問して6割の人と対話し、そのうち8割が署名に応じてくれたという方、署名受任者を増やした方もありましたが、家族の分だけでもと受任者になってくれた方もいて、これらが積み重なって256名の受任者になったのは素晴らしいことでした。傍聴が100人というのはすごい、矢野市長時代の予算通せの時と高橋セクハラ市長追及の時以来だ、初めて傍聴した方も多く、どの会派がバカバカしいことを言うかわかった、傍聴は大事だという声も出されました。

陳述で図書館は文化の社会保障と言われたことに共感、図書館はその自治体の民度がわかると言われるが、狛江では、、、とってしまう、市長や議会は図書館とは何かが分かっていない、議会の開かれる当日付け(5/15)の広報こまえに市民センター改修・新しい図書館の記事が出たのは挑戦的だという声も。初めから市民の声を聞く気はないのを見せつけるような対応でした。

住民投票条例は否決されたが、これで終わりではない、これからも市民の声を反映させるような取り組みが必要、市民の良い図書館が欲しいという願いは強い、文化の街狛江にふさわしいワクワクするような図書館、夢のある目標は掲げ続けようとの前向きな意見も寄せられました。

また、市民センターの改修が間近に迫っているが、詳細設計については説明がない、広報に載った図面を見て気になる点がたくさんあるなど、説明会を開かせて使う人の声を聞く機会を持つべきだという意見も出されました。

今後、市民に報告のビラを出すことで住民投票の会の役割は一応終了し、現在進んでいる改修等には、「ちょっと待って図書館移転連絡会」として市民提案書に少しでも近づけるように、説明と改善を求めていくことを事務局では考えています。

また、報告会のあとでも図書館分割に怒りを持っている方、これで終わりではないですよねという声が寄せられています。今回の住民投票運動を通して繋がった市民の輪を広げ、市民の声が活かされる図書館・公民館を目指して、学習、情報交換、新しいビジョンを作っていくような新しい取り組みができれば良いと考えています。皆さんのお知恵をお貸しください。カンパも募集中です。

なお、これから開かれる幾つかの会合で報告を求められています。6/30(日)社会教育全国協議会三多摩集会、7/14(日)東京の図書館をもっとよくする会総会、7/24(水)図書館問題研究会全国大会 各国の図書館の話：伊藤千尋氏講演(その前に狛江の図書館について事務局と懇談)。

清瀬市では図書館が6館から2館に縮小、委託化計画があり、反対運動のチラシに有原氏のくまさんのイラストが登場しています。図書館の運動のシンボルになったようで嬉しいです。



# 狛江駅北口の樹木伐採中止求め市民が陳情

日本共産党狛江市環境まちづくり推進室長 重国たけし

狛江駅北口の噴水横の5本（シイノキ、シラカシなど）と泉の森会館通り（ヤナギ、サルスベリ、モミジなど6本）を伐採するとの市の計画に対し、景観と緑を守ってほしいと多数の市民・団体が中止を求めています。若い人たちによるインターネット署名 [change.org](https://change.org) では、500名近くの署名が集められ、市に伐採中止の要望が行われました。6月の市議会でも3人の市民から伐採中止を求めることや市民説明会の開催を求める陳情がだされ、審議・採択がおこなわれました。日本共産党市議団は5月10日に伐採中止を求める緊急要望を市長におこないました。

6月14日の建設環境常任委員会では、20人近い傍聴者が見守る中、意見陳述した市民から、「みどりの街狛江が狛江らしくあるためにも駅前のケヤキ、シラカシ、ヤナギを含む緑の空間は貴重な狛江の財産です」などとして伐採ではなく保全を求める訴えがありました。しかし委員会では賛成少数で否決、21日の本会議でも共産党の4人（宮坂、西村、岡村、荒木）と、高木、平井の各議員は賛成しましたが、自民、公明、分・維新と、小木、吉野の各議員が反対、賛成少数で陳情は不採択とされてしまいました。

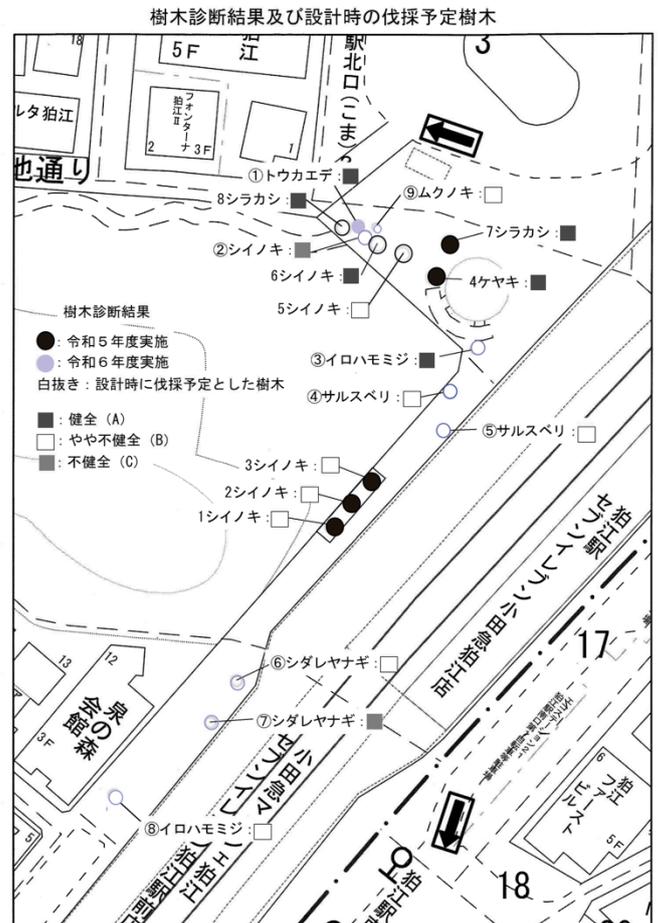
審議を通じて、①伐採は賑い創出をめざす狛江駅前整備事業（ほこみち事業）推進のために策定された「道路利活用方針」に基づくものであること、②「方針」策定後に樹木医の診断が行われたが倒木の危険のない樹木についても伐採しようとしていること（伐採予定11本のうち「不健全」は2本のみで、2本は「健全」、7本は適切な剪定が必要な「やや不健全」の判定）、③伐採計画の市民への周知は行われていないこと、などが明らかになりました。

委員会と本会議で賛成討論を行なった荒木てつ議員は、（1）市民の声を聴いて欲しいという声を重く受け止めることが必要、（2）景観や環境保全などこれまで検討されてこなかった観点が指摘され、伐採の見直しを求める意見が市民から出されていること、（3）気候変動対策としても「狛江市の緑の基本計画」に照らしても都市の緑を少しでも増やしていくことが求められていることなどを指摘し、市民の声を聞きながら方針を見直し、できる限り樹木を伐採しない方法を再検討する必要があることを指摘しました。

明政クラブ（自民党）は「方針」を合理化するために安全対策を強調しましたが、倒木の危険のある樹木の伐採に反対する意見などどこからも出されていません。商業利用のためのスペース確保や管理の簡素化ありきの伐採計画であることはあきらまかです。

また、噴水側の5本の伐採計画について市が「残せる木がないかどうか見直す」としていることを取り上げ、「陳情を採択する合理的理由がない」という珍論や、「中立の立場だから陳情に賛成しない」という理解しがたい主張を本会議で述べた議員もいました。この問題に関心を持つ若い市民の傍聴も見られました。

市民の声を聞く行政の実現や、都市の開発と緑の保全を求める問題は、都政での神宮外苑開発の樹木伐採問題などとも重なり、いま大きな政治転換の焦点となっています。



## 7月の市民運動などの予定

※今月、市民運動団体などが予定している各種会議やイベントなど、日程を掲載するコーナーです。編集部が把握する情報には漏れがあると思いますので、ぜひあなたの情報をお寄せください。※本紙に折り込んでほしいピラなどがありましたら、300部用意してください。会報製本・仕分け作業日前日が締め切りとなります。折り込み希望の方は、可能な限り、会報の製本・仕分け作業をお手伝いください。

日 時	会場など	内 容	問い合わせ先など
3日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	Silent Standing	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》
7日(日)		東京都知事選挙投票日	
9日(火) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	9の日行動 = 駅前署名・宣伝行動	戦争なんてイヤだ！狛江市民実行委員会
12日(金) 10時30分～	みんなの広場	「豊かな狛江」8月号 編集会議	
16日(火) 10時～12時	東京土建狛江支部会館	こまえ社保協事務局・役員会	各加盟団体の皆さんは、ご出席ください。
18日(木) 14時～16時	中央公民館 第2会議室	《平和憲法を広める狛江連絡会》《こまえ九条の会》合同世話人会	新しい方の参加大歓迎です。
20日(土) 13時15分～	狛江駅北口	リレートーク&平和行進	
24日(水) 17時30分～ 18時30分	狛江駅前	《消費税をなくす狛江の会》の署名行動	民主商工会や東京土建狛江支部などが中心。第4水曜日。
27日(土) 14時～16時	東京土建狛江支部会館	「豊かな狛江をつくる市民の会」総会	
29日(月) 14時～16時	みんなの広場	豊かな会拡大世話人会	世話人以外の方の参加歓迎です。
30日(火) 9時30分～	みんなの広場	豊かな会会報『豊かな狛江』7月号の製本・仕分け作業	折り込みのある団体はご参加ください。

## 中学校教科書採択 教科書カフェと見本本展示会

和田 哲子

今年中学校教科書の採択の年です。8月上旬の教育委員会で審議決定されますが市民の意見も参考意見として扱われることになっています。そのために6月14日～27日まで市内3カ所で見本本の展示会が開かれました。その展示会に行って意見を書くための学習会として6月15日、教科書カフェ2024 みんなで考えよう教科書のこと「どう変わる中学校教科書」を開催しました。

講師は子どもと教科書全国ネット21事務局長の糀谷陽子さん。今年教科書の特徴としてQRコードがほとんどの教科書に載せられていてタブレットをかざせばたくさんの情報があらわれてくる。便利で学習の広がり役立ちそうで、たくさん載っているのがよいと思われそうだが本当にそうだろうか。紙の教科書の記述内容をしっかり検討して教科書を選び、場面によってQRコードを活用するという扱いが大切。

ジェンダー平等、性の多様性、家族のあり方については学習指導要領を超える内容も「発展」のページに掲載されるなど前進が見られるがまだ不十分なところも多いので学習指導要領の見直しも含めて意見を出したい。

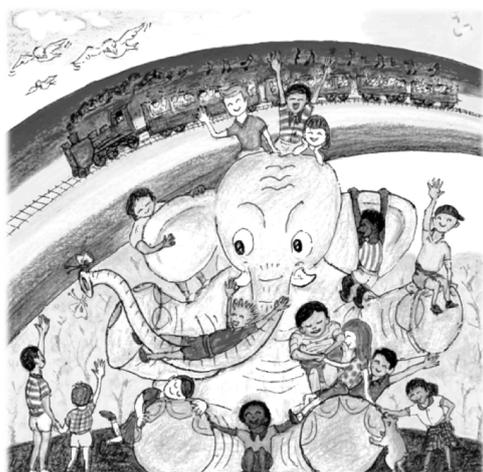
子どもたちに手渡したくない教科書として、従来からの育鵬社、自由社の歴史・公民について、学問研究の成果が反映されず間違いが多いこと、侵略戦争を賛美し、「憲法改正」に導く、領土問題での政府見解の一方的押しつけなどの問題点を指摘。さらに過去4回の不合格のあ

と今回新たに検定を通った令和書籍の歴史について、そのいきさつの不自然さも含めて書名を「国史」としている等あまりにも特異であることを指摘。

など大変わかりやすく今年の教科書の特徴を話してくださいました。

■その「国史」を展示会で読んでみると・・・

中学校の歴史は世界史も含めた分野であるのに「国史」という書名にしていることからして教科書としては不適切です。体裁も他のものとは全く違って昔の教科書の大きさをページ数は500ページの縦書き(他社はほぼ300ページで横書き)でぎっしりの字数、巻末の図版以外はカラーはほとんどなく白黒のページばかり。内容といえば世界史も含んではいませんが「国史」というよりも神話を中心とした「皇室史」。普通の人々は皇室のおかげを被ってちらちら存在しているだけ。戦争については「快進撃」「散華」と自己犠牲が美化され、それでいてとってつけたようにP386・387では「絶対に勝てる戦争」などなく「戦争を避けることを第一としなければなりません」と言い訳のようなことを入れてあったり、不信感が募りました。P448の「日本が小さくてもキラリと輝く素敵な国でありつづけることで、世界を平和に導くことができるかもしれません。」のお気楽さには読んでいて力が抜けてしまいました。



### こまえ<sup>へいわ</sup>平和フェスタ 2024

えがお ひろがれ！いのち かがやけ！

-知<sup>し</sup>ってる？子<sup>こ</sup>どもの権<sup>けんり</sup>利

**8月18日(日)**  
**午後 1:30～4:00(予定)**  
**(開場 12:30)**  
**エコルマホール**

手話通訳・要約筆記あり  
保育(1歳～未就学児)要予約

- 合唱「虹をつなぐ」
- 朗読劇「子どもの権利って？ どう活かすの？」 中学生出演
- 合唱構成「ぞうれっしやがやってきた」 平和フェスタ合唱団
- ☆ホワイエ：展示あり

子どもも大人も楽しめます。誘い合ってご来場ください。



## リレートーク&平和行進 7月20日(土)

駅前リレートーク：13時15分～45分

平和行進：14時～14時30分

南口つつじ児童遊園(きらぼし銀行横)出発 ⇨  
世田谷通り左折 ⇨ 狛江三叉路左折 ⇨ 狛江通り  
⇨ 市役所前 ⇨ 和泉中央児童遊園 解散

主催：狛江平和行進実行委員会

こまえ平和フェスタ 2024 フレ企画

## 子どもの権利って、なに？

日時：7月13日(土) 14時～15時40分

場所：中央公民館第4会議室

- (仮称)狛江市こども条例の制定について
- 「子どもの権利って？活かされている？  
～批准30年を振り返る～」

和光小学校教諭 山下淳一郎さん

- 活動紹介：こまえ・子どもの権利を考える会

主催：こまえ平和フェスタ実行委員会

後援：狛江市 教育員会 社会福祉協議会  
音楽連盟

## 狛江の自然



### 駅ツバメ

狛江駅の連絡通路にツバメの巣。親鳥が頭上を盛んに飛び交い、巣立ちも間もなく。

(中和泉 周東)